

特定保健指導利用率向上対策	電話による利用勸奨	積極的支援に該当するが保健指導の利用がない方へ、電話による利用勸奨	勸奨時期の見直しを実施。（健診受診から1～2か月以内に電話がけを実施）	効率的な運用のため、勸奨時期の見直しを行う。（アドバイスシートが手元に届く頃に電話がけを実施）	電話勸奨数	161件	178件	204件	積極的支援利用率 電話勸奨によって、利用した者の割合の増加	特定保健指導利用率	積極的支援 24.5%	積極的支援 19.7%	積極的支援 23.6%	30.0%	45.0%
	レッドカード	積極的支援に該当した方へ、健診実施医療機関からレッドカードの配布 ※レッドカード：積極的支援のプログラムについて案内	積極的支援に該当した方へ、健診実施医療機関からレッドカードを配布。	レッドカード配布状況と利用状況の分析を行う。	配布数	51枚	29件	44件	レッドカードによって、利用した者の割合の増加						
	人間ドック費用助成での受診者への勸奨	人間ドック費用助成対象者に対する特定保健指導の実施体制の整備。		医療機関へ協力依頼を実施	利用者数										
	個別に応じた積極的支援プログラムの提供	【おなかすっきり相談室】 月に1回の保健師と栄養士による面談形式で、実施する。面談では、利用者の生活習慣の改善状況を確認し、継続できるよう支援する。	左記の3種類のプログラムを対象者に提供	継続	利用者数	9件	10件	21件	対前年度増						
利用者数		35件			27件	24件									
利用者数		8件			6件	6件									
糖尿病重症化	【電話勸奨】 受診状況の確認及び未受診者へ電話で受診勸奨を行う。必要に応じて、特定保健指導や栄養相談（食事カルテ）等の案内をする。	健診結果及びレセプトデータから糖尿病の受療が確認できない者に電話で受療勸奨を行う。	継続	電話勸奨数 受診勸奨実施件数	架電40件 勸奨実施11件	架電166件 勸奨実施17件	架電186件 勸奨実施25件	架電100件 勸奨実施25件	受診勸奨実施者に占める医療受診の有無	45.5%	35.3%	36.8%	50.0%		

生活習慣病 重症化予防	予防	【文書による勧奨】 電話がつかない方等に対する文書通知を実施する。健診のHbA1c値の表記と、合併症のリスク受診の必要性について注意喚起をする。	電話がつかない者に文書で勧奨。受療状況の確認のためのアンケートを同封。	(1)健診実施医療機関宛に、受診勧奨値の対象者名簿を送付。健診結果説明と受診勧奨の徹底を依頼 (2)勧奨文を対象者に郵送	通知 発送数	29件	22件	35件	電話不通 の者全件	受診勧奨 実施者に占める医療受診の有無	9.5%	15.8%	15.2%	15.0%
	糖尿病性腎症 重症化予防	糖尿病性腎症の治療を受けている方に対して、透析を予防するための保健指導を実施する。	鎌倉市医師会と委託契約を締結	(1)生化学検査機関へ対象者抽出依頼。 (2)直接医療機関へ働きかけることを検討。 (3)重症化予防・腎症重症化予防対象者に対する階層化したアプローチを検討。	保健指導 実施数	H31.1～ 新規のため		2件	50件	①臨床検査値・生活習慣が維持・改善した者の割合 ②透析を防ぐことができた者	H31.1～ 新規のため		評価時期これから	<div></div> <div>①80.0% ②1年以内で100.0%</div>